

道徳の時間のこと (6年生学級通信より6/23(水)より)

先日、道徳で教材「わかっているよ」の学習をしました。価値項目は「節度」。授業のはじめに「節度とは何か」聞きました。「節約?」「加減を考えてやること?」「いいことでもあり、よくないことでもある」などの意見が出たあと、教材を読みました。登場人物が、おいしいものを食べ過ぎてしまって腹痛になったり、読書が楽しくてついつい夜遅くまで読んでしまって体調を壊したりという内容でした。



子どもたちに、「似たような体験はない?」と問うと、たくさんの体験が出されました。しかし、これは道徳の時間。失敗の出し合いで終わってはいけない。「どうすればよかったの?」と切り返すと、「分かっているけど、ついつい…。」「楽しかったから、それはそれでいい。」など思い思いの返答がかえってきます。

6年生ともなると、いけないことは分かっている。けれどやめられないときもある。それぞれの欲求と理性と葛藤がうかがえる道徳ノートを書いてきてくれました。

大人の私たちにも同様の経験はありますが、子どもたちにとってはまだまだ多くのことが未経験で、自分の弱さや後悔に直面したり、様々な失敗を経験したり、やってみないと分からないことなど、11~12歳の彼らにとってもたくさんあるのだと、考えさせられたことでした。

子どもの経験値の少なさが表面化している現在、私たちが子どもの頃と社会は全くちがっていて、生活も変化していることは否めませんが、失敗をおそれずチャレンジすることで、それぞれに何かをつかみ取ってほしいですね。

道徳ノートより 「わかっているよ」を学習して!

Yさん：私も健太みたいに「分かっているよ」と言ってしまう時があって、どうしてそんなに分かっているようなことを言うんだろうと思いました。

健太が本を読んでいる時に、止めようかなと思ってなかなか止められないということが、私もこんな感じだなと思いました。

あと、後悔をしても過去にはもどれないから、ちゃんと人の言うことを聞いたりしたいなと思いました。でも、人のことばかり聞くのではなく自分の思っていることを考えて、自分で判断できないといけないから、これからはちゃんと自分で判断して後悔もあまりしないようにしたいです。

Nくん：ぼくは、今日の授業を受けてやり過ぎや食べすぎには注意しようと思いました。

今回の話でも、直人は食べすぎでお腹をこわしているし、健太は読み過ぎで次の日の釣りにもいけなくなっていたから限度を考えていればよかったと思います。

ぼくも、つい何かをやり過ぎてしまうことがあるので注意してやり過ぎないようにしたいと思います。

それに、やり過ぎで健太のように寝るのが遅くなってしまったら次の日にやりたいこともできなくなったりするから、時間のことも考えてやり過ぎないようにしたいと思います。

夢中になってやり過ぎることもあるけど、できるだけやり過ぎないように注意して止められるようになりたいなと思います。

校長より：物の豊かな時代。個人思考社会で他人より自己の考えを優先しまいがちな時代。こんな社会で生きる子どもにとって、自分や他人を守るための節度・節制(制御力・ブレーキ)は大切な力です。